

# やまゆり

学校だより

令和6年3月5日  
92号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」 一気づき・考え・実行するー  
校内研究重点 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育目標 「小・中・教育委員会の連携」

## 第10回の「小中学校運営委員会」を行いました

3月4日、道志中学校の会議室で今年度最後の「小中学校運営委員会」を行いました。より良い小中学校の教育を実現するために毎月一回小中学校の管理職(校長・教頭)と佐藤教育長、山口課長さんで月の計画や児童・生徒への教育に関して協議してきました。

3月で第10回となり、最後の委員会でした。

内容は、教育委員会からの施策や方針、事業の進捗状況等に関する説明がされ、共通理解を深め、今後の対応を検討しています。

最後に、小中学校の教育状況に関する報告をして、その報告に関わる質問や協議を重ね、指導や学校経営の方向性を確認しています。

一年間、大きな事件や事故もなく教育成果を挙げられたのも、この小中学校運営委員会での協議があったことが要因の一つです。中学校では、小学校や教育委員会からの情報提供やご意見、連携についての協力に感謝しています。ありがとうございました。

また、事務局として活動してくれた千葉・都築両教頭先生方には一年間の労力に感謝します。

中学校の事務局 千葉教頭



小学校の事務局 都築教頭 ↓



学校教育重点目標 「確かな学力の育成」

## 「後期入試」に向けて最後の指導

本日、3月5日は後期入試です。3月4日の帰りの会では、3学年職員が最後の指導をしました。3年生は、すでに6名が志望校から内定を頂いています。残りの4名が、今までの努力の成果を発揮し、本日の入試で実力を出し切れるように最後まで指導を続けました。

昨日の昼休みには、杉本からも入試に向けての指導をしました。最初は、緊張していましたが指導の後には、笑顔になり少し余裕を感じました。感染症対応も万全で、全員が入試を受けることができました。今日はきっと、実力を発揮出来たと思います。

入試が内定している生徒も、明日の受験生を気遣い、心一つに入試に向かっていました



学校教育重点目標 「豊かな心の育成」

## 能登半島地震への災害義援金の御礼

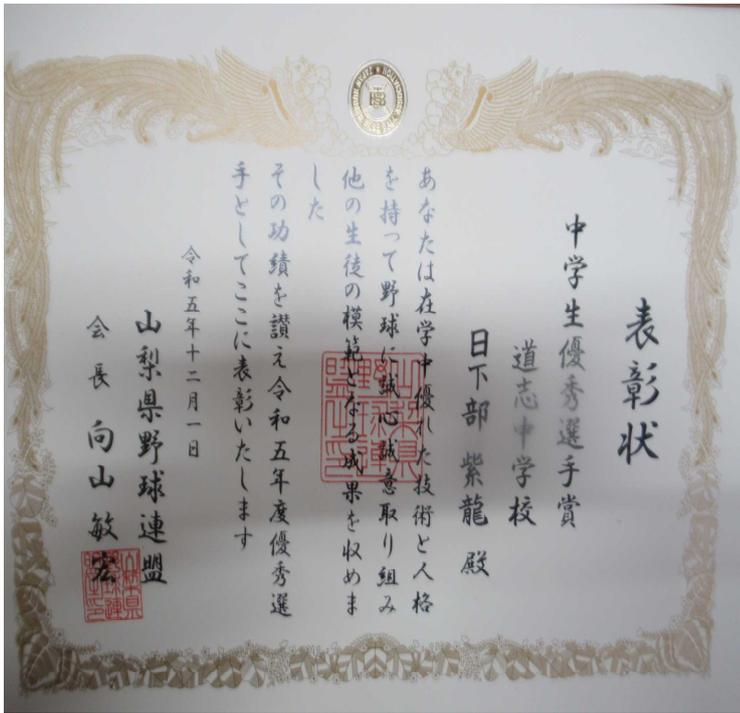
1月1日に発生した「能登半島地震」への災害義援金の活動を生徒会本部を中心に行いました。保護者の皆様にもご協力をいただきまして、ありがとうございました。

本校の生徒・保護者・教職員からの義援金の合計は、「20,637円」でした。

義援金については、生徒会執行部が本校とも太鼓の演奏を通じて交流のある「日本航空高校」が、日本航空石川高校の生徒全員を受け入れて学びの保証をしていることを知り、日本赤十字山梨支部と日本航高校に分けて寄付をしました。

日本航空高校は一口5,000円の寄付額でしたので、本校から3口、15,000円を寄付しました。残りの5,637円は日本赤十字山梨支部に寄付しました。

ご理解とご協力に感謝致します。ありがとうございました。



3年生の野球部の部長を務めた  
「日下部紫龍」さんが、山梨県野球連盟  
から「中学生優秀選手賞」の表彰を受け  
ました。

3年間野球での部長として努力し、  
山梨県の野球に貢献したことが認めら  
れました。野球の技術の優秀さはもちろ  
ん、試合中の苦しい場面でも、いつでも  
一番大きな声を出し、合同チームの選  
手を励まし続けました。野球で培った力  
を高校生活に生かして下さい。

## 3月4日(月)に全校生徒との相談を行いました

本校で一年を通して行ってきた「全校生徒との相談」を昨日も行いました。3年生も含めた相談  
日としては最後です。1・2生は今学期、あと一回予定されています。

杉本も2人の生徒と相談しました。一人は学習相談で、「国語の読解に関する内容」でした。20  
分の相談時間の中で、実際の説明的文章の問題の解き方を説明しました。また、今後も継続的  
に指導する約束をしました。

もう一人は、進学後の友人等に関する相談でした。道志中は小規模校なので、多くの生徒が  
「高校での友人関係」について不安な気持ちをもっています。「真面目で誠実、しかも友人の意見  
に流されずに自分の意見を言える良さがあることを認め、その良さを生かして生活していれば自  
然と友人はできる」ことを伝えました。その他、高校生活や就職等のことも相談しました。

相談後は、それぞれ礼儀正しく挨拶し、校長室を後にしました。



## 2年生が修学旅行の準備をしています

「身近な平和を創る旅」にしましょう ※ 2年生の修学旅行のしおり 団長のことば

文部科学省の令和5年度、「全国いじめ問題子供サミット」に参加しました。生徒会役員の3名が本校の「自助・共助・公助」について、堂々と思いを伝える発表をしました。

今世界では、多くの国や地域で戦争や紛争が行われています。私たちが大切にすべきは、「一人一人が人間として幸せに生きる権利」を大切にすることだと思います。

そのために、皆さんが学校生活の中で大切にしている目標は、

- ① 自分の願いをかなえるための努力をして、満足感や達成感を得ること
- ② お互いの努力を認め合うこと
- ③ 嫌な思いをさせないこと
- ④ 友人を孤立させないことです。

毎日の学校生活の中で、培った4つの力を奈良・京都・広島での活動でも発揮して、身近な平和として「真の友人関係や学年を創り上げましょう」。

本校は、青少年赤十字の加盟校です。JRC(青少年赤十字)では、「人道」を大切にしています。人道とは、「優しさや思いやり」であり、「あらゆる状況下において人間の苦しみや辛さを軽減する」活動をすることです。例えば、本校では「いじめ」で辛い思いをしている人を出さないように、そして、辛さを軽減するように独自の「三助法」(自助・共助・公助)を実践しています。平和を創る実践において今後も大切にしていきたいと思います。

しかし、理想と現実の違い、なかなか勇気を出していじめを止めるための活動ができない人もいます。人間には誰にも弱さや醜さがあります。JRCでは、人道を邪魔するものとして次の5点を挙げています。

- ① 利己心……自分の事しか考えない・自分さえ良ければ良い
- ② 無関心……どうせ人ごと・見て見ぬふり
- ③ 認識不足……勉強不足・知らないことを知ろうとしない
- ④ 想像力不足……相手の苦しみを想像できない
- ⑤ 羞恥心しゆうちしん……失敗したら恥ずかしい・何か言われるのではないかと心配

自分の中に潜むこれらの5点を乗り越え、「身近な平和を創る」ための目標をもった「旅」に出ましょう。「旅」は、和語です。松尾芭蕉は、俳諧を研ぎ澄まされた文学にするために旅をしながら俳句を創作しました。そして、俳句を文学にする事を実現しました。

校長として、皆さんには「修学旅行」ではなく、「修学の旅」で自分たちの願いを実現して欲しいと思います。

校長 杉本賢二

もうすぐ2年生！ 放課後学級の活動をする1年生 カメラを向けるとすぐにこの表情



